



higashiyamato no
ひがしやまとの



kokusai koryu
こくさい こうりゅう



『エクアドルの青年海外協力隊員のある一日
～現地からのレポート～』

発行：平成24年11月

東大和市役所 市民生活課

☎563-2111(1711)

平成23年7月から青年海外協力隊の一員として活躍している^{みさわ}三澤 ^{わたる}渡さんが「ひがしやまのこくさいこうりゅう」に寄稿してくださいました。

エクアドルの青年海外協力隊員のある一日 ～現地からのレポート～

¡Hola! 東大和市のみなさんこんにちは。私は、地球の裏側にある南米大陸の赤道直下の国、エクアドルで青年海外協力隊員をしている三澤渡（みさわわたる）と申します。平成23年7月に派遣されて以来1年以上も、ここエクアドルの先住民のコミュニティで生活しています。以前は、東大和市内の小学校で勤務していました。自宅は芋窪1丁目にあります。ここエクアドルでも小学校教諭としてボランティア活動をしています。今回はある日の生活を通して私の活動を紹介します。

朝6:00、緊急連絡用にJICA（国際協力機構）事務所から貸与されている携帯電話の目覚ましアラームがなって起床する。スペイン語の単語帳を音読する。しばらくすると、「ワタ、デサユノ（ワタ、朝ごはんだよ。）」とホームステイ先の奥さんラウラが私を呼ぶ。毛糸の帽子とダウンジャケットを着て台所へ行く。赤道直下とはいえ、標高が2500m以上なので寒い。きょうの朝食は、レンズマメの煮込み、ご飯、トマトのコリアンダー和えとオルチャタと呼ばれるハーブティーにレモンを絞ったものだ。学校指定のジャージを着た中学生の娘さんのケルミンと食卓をともにする。街の学校へ行くバスが出てしまうので、彼女は急いで食べている。朝食後、私も山登り用の靴を履きリュックサックを背負って村の小学校へ出発する。今年4歳になった弟のアンドレスが戸口で「チャオ（じゃあね）」と言って手を振ってくれている。



ホームステイ先



通学路

学校までの山道では、黒を基調とした民族衣装を着た人々にすれ違う。「ブエノス ディアス。アドンデ セバ？（おはよう。どこいくの?）」とあいさつをする。私が教えた子供達は日本語で「おはようございます。」と言ってくる。山の斜面に広がる畑には、牛2頭をスキにつなぎ土を耕している男達が見える。エクアドルの2000m以上の高地では、トウモロコシの栽培が主である。米よりはトウモロコシを多く消費している。牛の乳からチーズを作ることも多い。また、羊の放牧もされている。



低学年の子どもたちと担任

20分程歩くと、村の小学校に到着する。私の配属先であるインカリマイニケ国語教育委員会は、ペルー国境沿いのロハ県サラグロ市の6つの先住民コミュニティーを管轄している。きょう私が授業をするのは、そのうちの1つであるタンボパンバ小学校だ。1年生～7年生までの全校児童約40名、教職員5人の複式学級を含む小規模校だ。今のところ私は、バウレリオ先生が担任する6・7年生のクラス13名の子供達にわり算を教えている。

7：30 授業開始。日本語で「せんせい、おはようございます。」とおじぎ付きのあいさつをする。おじぎの習慣のない子供達は、喜んで深々と頭を下げる。次は日本の歌「ふるさと」を大きな声で歌う。子供達は日本語の歌詞も音楽付きですぐに覚えてしまう。「授業前に歌うと勉強する意欲ができていいね。」と担任の先生に言われる。子供達は、私が作ったプリント教材を2週間繰り返しやってきたことで、だいぶわり算ができるようになってきた。計算がはやいカルメン



授業風景

やジェイソンには追加のプリントをやり、ゆっくり理解するエリックやタリアには個別に丁寧に教える。子供達ひとりひとりが、自分の力を少しでも伸ばせるように授業をやりたいと思っている。明日はテストをして勉強の成果を確かめる日だ。先生達は、私の教え方を見てまねをしたり、できない子をどうやって教えたらよいかなどを相談したりしてくる。あと半年足らずで私の任期が終わる。私が今まで作ってきた教材をまとめたものを冊子にして、先生方に配ることも考えている。



子どもたち

10：00 休み時間。子供達には国から支給されるコーラダという小麦粉を溶かしたような飲み物とガジェータ（ビスケット）が配られる。近くの売店でアイスを買ってくる子もいる。子供たちはそれらを食べ終わると、狭いセメント張りの校庭でサッカーを始める。子供から大人までサッカーが大好きだ。エクアドル代表サッカーチームは、あのブラジルにも勝つこともあるくらい強いらしい。そんな中、子供達数人にインタビュー、「大きくなったら、何になりたい?」。4年生

の男の子アンディーは、兵隊。5年生の男の子ガルテルは、運転手。3年生の女の子ルスは、看護師。同学年の女の子ロサリアは、医者。最高学年の7年生の女の子達は、「私は女優・芸能人になりたい。」そうだ・・・。

休み時間が終わった後12：30まで授業をやって、子供達は下校する。エクアドルの小学校に学校給食はない。家に帰ってお昼ごはんを食べ、その後は畑の仕事、薪割り、家畜の世話、草刈りなどの手伝いをしている。馬に乗って山に仕事に行く子もいる。でも、

仕事がなければ、暗くなるまで元気に遊んでいる。ちなみに先生方の勤務時間は15:30で終了する。



コピー屋さん

13:00、明日のテストのプリントを印刷するために10キロ程離れた街に出発する。教育事務所には印刷機がない。もちろん各学校にもない。街のコピー屋さんに行って、1枚3センタボ（約3円）で印刷をしなければならない。印刷し放題の日本の学校がとてもうらやましい。乗り合いの荷台付乗用車（カミオネータ）にぎゅうぎゅう詰めになっ



ぎゅうぎゅう詰め的車

て乗り、20分後に街に到着。教会前の乗り場では、授業の終わった中学生たちが荷台からあふれそうになりながら、カミオネータで山の上の自宅に帰って行くところだ。日本なら過積載で警察に捕まってしまう。

街の行きつけのレストランで昼食をとる。エクアドルの昼食（アルムエルソ）は、最初にスープ、次にメインディッシュとジュースが出てくるのが定番の3点セットだ。運がいいとちょっとしたデザートも出る。きょうは、ロクロと呼ばれるチーズの溶けているスープ、メインは牛タンの煮込み（エストファド）と付け野菜、ゆでたバナナ、パイナップルジュース、そして小ぶりのプラムのような果物がデザートだった。牛タンが食べられるのはエクアドルでも珍しい。この街の市場（メルカド）の肉屋に尋ねると1キロ3~4ドル（約300円）で売ってくれるそうだ。ちなみに、きょうのアルムエルソは2ドル（約160円）だった。食べ物の物価は日本の3分の1くらいか。



お昼ごはん

15:00、サラグロの知人の娘さんタティアナに算数を教えに行く。数ヶ月前、地元のNGOで働いているラケルさんに街で偶然知り合った。授業料を払うからうちの子に算数を教えてほしいと言われたのだ。授業料はからないから、算数を教える代わりにスペイン語を教えてもらうということで、それ以来、週に2度程個人授業をやるようにしている。スペイン語である程度の会話はできるようになったが、高度な会話にはついてゆけない。まだまだ自ら語学の勉強を続けていこうと考えている。



授業風景

17:00、山に帰るカミオネータが来ないので、歩いて戻ることにする。歩くと1時間半の山道だ。羊たちを引き連れて帰路につくおばあちゃんやツルハシをかついだおじさんたちとすれ違う。畑のはるか向こうから私を呼ぶ子供の声もする。山道に映る私の影が

なが一くなってくる。そろそろ日が暮れる。赤道直下では1年中日の出と日の入りの時間が同じである。18:30になると、とっぷりと日が暮れる。そうすると、あちこちにホテルが光るのを見ることもできる。最近月は明るい月夜が多い。昔の日本の田舎では、月夜に稲刈りしていたという話を聞いたことを思い出した。

家に着くと、ホームステイ先のご主人ペドロが、えんどう豆の皮をむいて中身の豆だけを取っていた。日本ではすじだけ取り除いて、ゆでたり、スープにいれたりして皮も一緒に食べるんだよと教えてあげた。きょうの夕食（ミリエンダ）では、キヌアという雑穀の入ったスープにポップコーンを浸して食べた。エクアドルの夕食は総じて質素である。この家族は夕ご飯は時間があるから、みんなで一緒に食べる。今日一日あったことや明日の予定などを話しているうちに、4歳のアンドレスのまぶたが重くなってくる。



家族との夕食

夕食後は、スペイン語の勉強をしたり、辛うじてお湯の出るシャワーを浴びたりしているうちに夜が更けてくる。

日本からもってきた湯たんぽにお湯を入れ、寝床を用意する。今度の休日に長距離バスを乗り継いで小旅行でもしようかと考えながら床につく。

以上のような生活を毎日送っています。もうすっかりエクアドルでの生活に浸りきっているから、3月の帰国後日本の環境に順応できるか心配ですが、残りの任期を元気に過ごし、市民のみなさんにお会いしてもっとこの国についてお話しできることを楽しみにしています。その日まで、¡Hasta luego!

追記：

1. 青年海外協力隊についてもっと知りたい方は以下のHPをご覧ください。

<http://www.jica.go.jp/volunteer/application/seinen/>

2. エクアドル国についてもっと知りたい方は以下のHPをご覧ください。

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%A8%E3%82%AF%E3%82%A2%E3%83%89%E3%83%AB>

3. 私の後任要請も出ています。詳しくは以下のHPをご覧ください。

<http://jocv-info.jica.go.jp/jv/index.php?m=Info&yID=JL31812B11>

がいこくじん にほんごがくしゅうきょうしつ
外国人のための日本語学習教室

東大和市内には、ボランティアグループによる外国人のための日本語教室が3つあります。曜日や場所など、ご都合の良い開催日に直接会場へお越しください。

① にほんご かい
日本語の会

ようび じかん 曜日と時間	まいしゅうもくようび ごぜん じ 毎週木曜日 午前10時～12時
ば し よ 場 所	なんがいこうみんかん 204号室 ひがしやまとしなんがい 東大和市南街5-32 ☎042-564-2771
か い ひ 会 費	1 げつ 200 えん 1か月 200円
れんらくさき 連絡先	にほんご かい はまの たかし 日本語の会 浜野 駿 ☎042-564-6277

② とも かい
にほんご友の会

ようび じかん 曜日と時間	まいしゅうどようび ごご じ ぶん じ ぶん 毎週土曜日 午後1時30分～3時30分
ば し よ 場 所	ちゅうおうとしょかん かい しちょうかくしつ 中央図書館2階 視聴覚室 ひがしやまとしちゅうおう 東大和市中心3-930 ☎042-564-2454
か い ひ 会 費	1 げつ 200 えん 1か月 200円
れんらくさき 連絡先	にほんご とも かい よしだ とおる にほんご友の会 吉田 徹 ☎042-564-1300

③ にほんご
あつまれ日本語ひろば

ようび じかん 曜日と時間	まいしゅうかようび ごご じ ぶん 毎週火曜日 午後2時～3時30分 まいしゅうきんようび ごぜん じ ぶん 毎週金曜日 午前10時～11時30分
ば し よ 場 所	さくらがおかしみんせんたー 桜が丘市民センター ひがしやまとしさくらがおか 東大和市桜が丘3-44-13 ☎042-567-2237
か い ひ 会 費	1 げつ 200 えん 1か月 200円
れんらくさき 連絡先	あつまれ にほんご ひろば にしやま きよし あつまれ日本語ひろば 西山 清 ☎090-6707-5997